

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記③

国立市立国立第七小学校

平成27年6月4日 NO.27 (227)



オオカマキリ

花ちゃん 「あ！これもカマキリの写真ですね。2匹いますね。」

オー君 「花ちゃん、このカマキリは交尾しているんだ。ぼく初めて見たよ。」

花ちゃん 「どっちがオスなの。どっちがメスなの。」

オー君 「えーっと、左がメスだ。そして、右ののっかっているのがオスだよ。」

モンタ博士「そのとおりだね。よく知ってるね。この写真も今の季節ではなくて、秋にとったものなんだ。モンタ博士も初めて見ることができ、その時には感動したね。オスは一度メスをつかまえると、絶対にがさないそうなんだ。この時も足で、メスの体をがっちりとかまえていたよ。」

オー君 「すごいですね。ぼくも見たかったな。残念だったな。ところで、オスは交尾中にメスに食べられてしまうこともあるそうですね。」

モンタ博士「そうなんだよ。交尾中にメスが後ろを向いて、オスの頭をバリバリと食べて
しまうというお話も聞いたことがあるよ。」

花ちゃん「え！何だかこわい感じですね。」

モンタ博士「頭を食べられても、オスはそれでも体をはなさないそうなんだ。すごいね。」

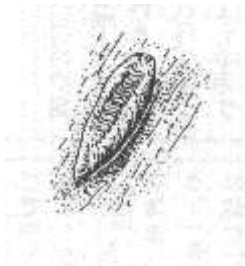
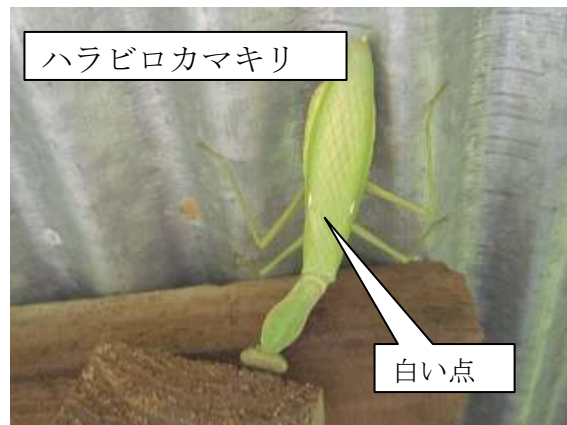
オー君「ヘー！おどろきですね。カマキリも子孫（子供やまごなど）を残すために
一生懸命なんですね。」

モンタ博士「それからね、このオオカマキリ他に、コカマキリやハラビロカマキリの写真
もあるから、くらべてみるといいと思うよ。」

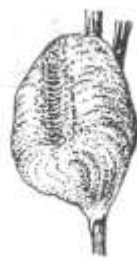
花ちゃん「どこがどうちがうんだろう・・・コカマキリというのは、やっぱり小さいわ。」

オー君「それからね、花ちゃん。ハラビロカマキリはね、せなかの所のりょうはしに、
白い細い点があるだろう。これが、見分けのポイントだよ。」

モンタ博士「さすがオー君。よく知っているね。それから卵のうの形もちがうんだよ。」



コカマキリ



オオカマキリ



ハラビロカマキリ

変な生き物・・・ハリガネムシについて

ハリガネムシの親は、川の中で産卵し、小さな幼生が育ちます。その幼生をカゲロウの幼虫が食べます。大きく成長したカゲロウが羽化し、そのカゲロウをカマキリが食べます。カマキリのお腹の中に寄生したハリガネムシの幼虫は、少しずつ大きく成長していきます。その後、水辺でカマキリのお腹が水にぬれたりした時に、カマキリのお腹から抜け出し、再び水に戻り生活するという事です。その戻ったハリガネムシがまた産卵し、それを何度も繰り返すという事です。なお、校長先生がかつて勤務した山の中の学校のプールでは、何度もハリガネムシを見つけました。そのうち、いつか『ハリガネムシ』について、国立てくてくてくでお知らせする予定です。乞うご期待！